

< 報道発表資料 >

令和 7 年 4 月 1 1 日

京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

「市民の庭」で京都の希少な植物を育成する取組の参加者募集

京都市では、京都らしさを支える生物多様性の持続可能な利用を図るため、「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」を実施しています。

この度、市民の皆様との協働による生物多様性に配慮した庭づくりの取組を実施します。

【取組の概要】

● 概要

本制度の趣旨に御理解いただき、保全対象種※の栽培方法等に関する育成講習会を受講した市民等の皆様に生物多様性に配慮した庭づくりに取り組んでいただきます。

※ 保全対象種 本制度においては、京都の祭りや文化を支え、かつ、個人でも育成が比較的容易な植物の希少種

● 対象 市内在住で保全対象種の育成を希望し、かつ育成講習会を受講いただける個人

● 保全対象種 ヒオウギ、キキョウ、カワミドリ、ノカンゾウ



ヒオウギ



キキョウ



カワミドリ

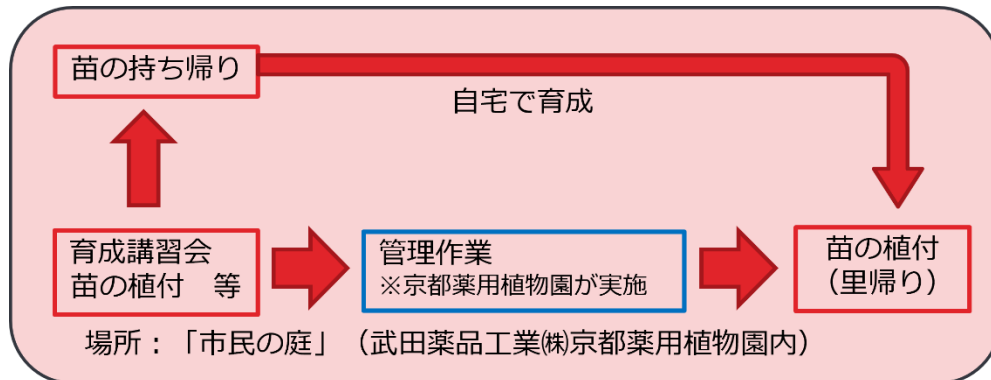


ノカンゾウ

● 定員 60名程度（ヒオウギ：30名程度、その他対象種：各10名程度）

※ 定員を超えた場合には、抽選となりますので御了承ください。

- 参加費 無料
- 取組の流れ



- 申込

令和7年4月16日(水)～令和7年5月13日(火)に、
ポータルサイト「京・生きものミュージアム」の申請フォーム



(https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/project_niwa/) から申し込んでください。

また、郵送又はFAXでの申込みの場合は、氏名、メールアドレス(ない場合は電話番号)及び育成を希望する保全対象種を記載し、次頁<申込先>に申し込んでください。

※ 郵送の場合は、当日必着とします。

※ 1人につき1種の申込みとします。

- 育成講習会の受講

本制度の趣旨を理解し、保全対象種の育成方法を学んでいただくため、以下の日時及び場所において育成講習会を開催しますので、必ず受講してください。

本講習会終了後、「市民の庭」で除草、耕うん、防鹿柵の設置等の庭づくり作業をしていただきます。また、京都市動物園から御提供いただく堆肥を使用し、土壌改良を行います。その後、希少植物の植付けを行います。

保全対象種	日時	場所
ヒオウギ	令和7年5月31日(土) 午前10時～正午	武田薬品工業(株)京都薬用植物園 (〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町11)
キキョウ カワミドリ ノカンゾウ	令和7年6月1日(日) 午前10時～正午	

※ 育成講習会を受講し、保全対象種の植付け等を実施いただいた方に認定証をお渡しします。

※ 日常的な管理は武田薬品工業(株)京都薬用植物園が実施します。

※ 希少植物の植付けの際、西日本高速道路(株)から御提供いただくコムラサキも植樹します(詳しくは<参考5>を御覧ください。)

※ 御希望の方は、午後から薬用植物園内の見学ツアーに御参加いただけます。

● 苗の持ち帰り・育成

武田薬品工業(株)京都薬用植物園が用意した希少な植物の苗を自宅に持ち帰り、自宅で育成に挑戦していただきます。なお、御自身がお申込みされた保全対象種をお持ち帰りいただきます。

● 「市民の庭」への植え戻し（里帰りイベント）

自宅で育成した苗を「市民の庭」に植え戻していただきます（令和8年3月頃実施予定）。

● 運営 共催：京都市、武田薬品工業(株)京都薬用植物園

協力：京都市動物園、西日本高速道路(株)

< 申込先 >

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地

京都市 環境政策局 環境企画部 環境保全創造課 生物多様性担当

FAX：075-213-0922

< 参考1：「京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度」について >

本制度は、京都らしさを支える生物多様性の持続可能な利用を図るため、葵祭で使われるフタバアオイや祇園祭の^{ちまき}粽に欠かせないチマキザサなど、京都らしさを支えてきた生きものの保全、再生及び持続可能な利用の取組を実施する団体又は個人の方を認定する制度です。詳しくは、以下 URL 又は二次元コードから御覧ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000187608.html>



< 参考2：これまでの取組状況 >

「市民の庭」の取組は、令和5年度から実施しています。

これまでに、82名（令和5年度：25名、令和6年度：57名）の方々に御参加いただき、庭づくりを行いました。また、御自宅で育成されたヒオウギの苗を「市民の庭」に植え戻す「里帰り」イベントも実施しました。



育成講習会と庭づくりの様子（令和6年5月実施）



里帰りイベント（令和7年3月実施）

<参考3：武田薬品工業(株)京都薬用植物園との連携について>

本市と武田薬品工業(株)京都薬用植物園（左京区）は、市域における生物多様性保全の推進に関し、相互の連携を強化し、取組の促進を図るため、令和3年12月に「生物多様性保全に関する協定」を締結しました。

本事業における保全対象種の苗の確保及び提供については、本協定に基づく連携・協力事項の一つとして、御協力いただくものです。



京都薬用植物園 中央標本園

<参考4：京都市動物園の堆肥について>

京都市動物園では、堆肥化装置を導入し、園内で発生するゾウの糞を園内で処理して堆肥化しています。できた堆肥の一部を、「市民の庭」の庭づくりのために提供していただきます。

<参考5：西日本高速道路(株)から提供いただくコムラサキについて>

高速道路の建設予定地の希少な植物を保全するため、西日本高速道路(株)と武田薬品工業(株)京都薬用植物園は、共同して保全の取組を進められています。その取組の一環として、今年度の「市民の庭」の取組にコムラサキの苗を御提供いただき、植樹作業を行います。

<お問合せ先>

京都市環境政策局環境企画部環境保全創造課

電話：075-222-3951